

平成28年2月17日

G7茨城・つくば科学技術大臣会合推進協議会

報道関係各位

## **G7茨城・つくば科学技術大臣会合記念事業 ハイスクール科学技術サミットを開催しました！**

5月につくば市で開催される「G7茨城・つくば科学技術大臣会合」に先立ち、G7開催に向けた地元の機運を盛り上げるとともに、中高生の科学への興味関心を高め、次世代を担う若者の声を発信するため、ハイスクール科学技術サミットを開催しました。

今回の意見を取りまとめ、「次世代を担う若者からの提言」として科学技術担当大臣に手交する予定です(内閣府と調整中)。

### 記

1. 日時・会場  
2016年2月9日(火)～10日(水)  
9日…参加者による交流会, 10日…ディスカッション(於:つくば国際会議場中ホール 300)
2. 参加者:計 22名  
日本…竹園高等学校, 土浦第一高等学校, 並木中等教育学校, 茗溪学園中学校高等学校(各2名)  
※つくば市近隣のスーパーグローバルハイスクール(以下、「SGH」), スーパーサイエンスハイスクール(以下、「SSH」)  
日本以外のG7構成国(米・英・仏・独・伊・加・EU)…筑波大の留学生等(各2名)
3. 傍聴者:計 157名  
来賓(※別紙), つくば市内中学校, 県内のSGH・SSH関係高校, 参加者の保護者, 所属校長等
4. 内容  
高校生及び留学生による模擬サミット(使用言語:英語)。  
科学技術に関連する4つのサブテーマ「医療と科学技術」「新エネルギー」「食糧と科学技術」「宇宙開発と工学」について、日本の高校生たちが発表を行い、それに対して留学生たちが意見を述べた。そして最後に、サブテーマを踏まえて「科学技術は人類を幸せにできるのか」をメインテーマとしたディスカッションを行った。
5. ディスカッションで出された主な意見
  - ・「科学は魔法ではない。科学それ自体が幸せを生み出せるわけではないが、人類を幸せにするための一助にはなる。いかに使うかは我々次第。」(留学生)
  - ・「私たち高校生や、普通の人たちがもっと科学に関わってほしい。科学に関わる人の数を増やしていって、科学の将来をより多くの人に見てほしい。」(日本の高校生)
  - ・「地域の実情に応じた教育により、新しい世代を育てていくべき。彼らのアイデアが、新しい科学者たちのひらめきにつながると思う。また、教育により自分たちの幸せをつかんでもらうことが大切。」(留学生)

#### <本件に関するお問い合わせ先>

G7茨城・つくば科学技術大臣会合推進協議会 (事務局・茨城県国際課 齋藤)  
TEL 029-301-2858 FAX 029-301-2869

## ハイスクール科学技術サミットの写真



▲会場の様子



▲日本の高校生の発表



▲ディスカッションする参加者たち



▲来賓からの感想(EU 代表部)



▲記念撮影

※写真のデータをご所望の方は、下記アドレスまで御連絡願います。

G7茨城・つくば科学技術大臣会合推進協議会 : [g7stm@pref.ibaraki.lg.jp](mailto:g7stm@pref.ibaraki.lg.jp)

## 来賓一覧

茨城県知事(※主催者, G7茨城・つくば科学技術大臣会合推進協議会会長)
つくば市長(※主催者, G7茨城・つくば科学技術大臣会合推進協議会副会長)
内閣府参事官(国際担当)
茨城県議会副議長
つくば市議会議長
筑波大学副学長(教育担当)
茨城県教育委員会教育長
つくば市教育委員会教育長
つくば市教育委員会委員長
茨城県教育委員会委員
農業・食品産業技術総合研究機構理事
国際農林水産業研究センター理事長
筑波大学医学医療系教授
産業技術総合研究所副理事長
産業技術総合研究所つくばセンター次長
宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター所長
国際協力機構筑波国際センター所長
アメリカ合衆国大使館 Education Outreach Country Coordinator
欧州連合代表部 Science & Technology Advisor